

SOLE! FIGHT

新潟の明日を担う

活力企業

地域の暮らしに寄り添って

新潟県内に三十八店舗、県外に六店舗を展開するひらせいホームセンター。ダイソーや書店など関連店舗を含めると百二十九店舗にもなる。同社が目指し続けているのは「いつでも、どこでも、誰もが気楽にお買い物ができる生活舞台の演出」だ。店ごとに地域ニーズに合わせた品揃えをし、同じ店でありながら画一的ではないのが「ひらせいスタイル」。小売業としての矜持きようじがそこにある。

店舗によって品揃えが異なるホームセンター

クマの親子がトレードマークのひらせいホームセンター。その創業は昭和四十七年。現会長が金物屋を開業したことから始まり、昭和五十四年に新潟市西区(旧巻町)に一号店をオープンした。フランチャイズ事業としてTSUTAYA、ダイソー、業務スパーなども展開しており、私たちの生活にとても身近な存在だ。二代目である清水泰成社長は「二十年ほど前から食品の扱いをはじめ、本やエクステリアなど生活に必要なものを揃えています。当社は店の大型化というより、気楽に買い物をしてもらう場所づくりを大切にしているからDNAです」と話す。

店によって品揃えが異なっているのも特徴。「その地域に大型家具店が近くになければ、寝具類を多く品揃えする、家電店がなければ家電用品を充実させるといった感じで、運営はチェーン方式ですが、品揃えは個店主義。画一的ではないんです。糸魚川市では数年前に書店が無くなつてしまい、ホームセンターの一角にあった本の売り場を拡大したところ、売上が倍増しました。求められるものを揃えて、お客様に喜んでいただくことに意味があります」。

お客様を大切にする姿勢は、お客様が意見を寄せる「お客様カード」からも伝わってくる。各店舗から届くお客様の声は、毎週行われている役員会で、まず役員が目を通す。そして、営業本部には十二年分のお客様カードを、壁一面に掲示。「店長会議や研修などで社員が集まると、休憩時間にみんながこれに目を通します。私たちが至らないものについては改善をしますから、見返すことで、当時のことを思い出したりして、また気持ちが入ります」。さらに、清水社長が社内徹底してきたのは、まずは上司が必ず挨拶すること、そして上司が部下に指示を出したら、必ずその結果を確認すること、という二点だという。

「基礎的なことですが、働きやすい職場であるためには大切なこと。成果を見て言葉をもらうことはやりがいにもなるし、社員が働き甲斐を持って仕事をすれば、お客様にも伝わると感じますね」。

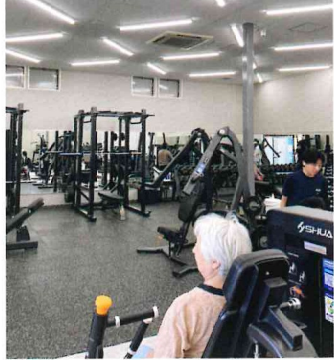


健康経営に取り組み、10年連続で「DBJ健康格付」の認定を受けている



株式会社
ひらせい
ホームセンター
代表取締役社長
清水 泰成 さん

小売、農業に続く 次なるテーマは「健康」



昨年末から展開を始めたLifeFit(ライフフィット)ひらせい亀田店

ダイソーやTSUTAYAなど、生活に欠かさない店舗を運営する



清水社長が、新潟の農業、農家をサポートしたいと平成二十八年に立ち上げたひらせいファームは、ひらせいホームセンターにとっても画期的な出来事となった。同社が作る野菜苗はとて好評で、年々売り上げを伸ばし、春の植え付けシーズンの売り場は、連日大賑わいだ。清水家が代々農家だったということもあり、農業への思い入れは強い同社。これまでに、米農家の多角化で作られるようになったもち麦の加工品として、セイヒョーと大福を、岩塚製菓と「ふわっとプラン」を開発するといったコラボを実施。新潟県産大麦を使っ

てウイスキーを製造する新潟亀田蒸溜所もサポートしている。

小売業、そして農業に続いて、次なるテーマとしているのが「健康」だ。「住まいや食にまつわる小売りをしていますが、大前提として必要なのはやっぱり健康。健康寿命を長く、皆さんに元気に過ごしていただくためにも、昨年からの事業の柱のひとつに加えています。具体的な動きとして、二十四時間営業のフィットネジムのオープンしました」。

店舗の工夫としては、ワンフロアにひらせいホームセンターや食品、書籍、ダイソーなどを同居させ、会計はまとめてOKという形にしている。買い回りしやすく、運営としても管理しやすく、スタッフの数も抑えられるという訳だ。現場主義だからこそその視点と柔軟性といえる。清水社長が、父である会長から唯一一言われ、守っているのが「毎週必ず店に行つてほしい」ということ。「店に行く」と、自分がイメージして進めたことと実際のギャップも分かるし、社員にとって無理がないか、お客様の役に立っているかの確認ができる。常に一番変化しているのはお店ですから」と清水社長。ひらせいらしさがどこから生まれているのか、その理由のひとつを感じるエピソードだ。



ひらせいファームの苗にも使われているもみ殻堆肥も販売。肥料類の品揃えの豊富さも強みだ



エクステリア用品やリフォームなど住まいの相談にも応じる



春の野菜苗の売り出し時期は連日多くの人で賑わう



営業本部の壁一面に貼られている「お客様カード」。12年分が掲示されている

食良品館、生鮮広場は手頃な価格も魅力だ。県産もち米「もち麦大福」など、コラボ商品の開発も



●問い合わせ
株式会社ひらせいホームセンター
〒950-0218
新潟市江南区いぶき野2丁目1-1
TEL 025-383-4141(代)
FAX 025-383-4150



営業本部外観



営業本部内観